

奈良国立大学機構(奈良教育大学・奈良女子大学)における地域連携の取組について



奈良教育大学



奈良女子大学

奈良国立大学機構の地域連携方針

奈良教育大学と奈良女子大学は、令和4年4月に法人統合し、「奈良国立大学機構」を設立しました。2つの大学が1つになるのではなく、奈良教育大学も奈良女子大学も存続し、それぞれ異なる強みを相互に提供しあい、これまでにない新しい国立高等教育機関として、教育・研究面の機能強化を図ります。

奈良国立大学機構の下に設置された奈良カレッジズ連携推進センターには、「地域連携推進部門」が設けられており、機構が運営する奈良教育大学および奈良女子大学と学外機関との地域連携事業の推進を図ります。

PICK UP

奈良教育大学の研究者



教育連携講座
(情報センター)
古田 壮宏 教授

■ 主な研究内容

オペレーションズ・リサーチ、
数理最適化、都市計画、
データ分析、意思決定

デジタル技術の活用
(データ分析)



地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

都市整備

■ 活用例

都市に存在する様々なシステムの効率化・
適正化に向けた、実際のデータに基づく
分析や改善方法の検討

※研究者の経歴等は
(URL: <https://researchmap.jp/takef>)をご参照下さい。

奈良国立大学機構(奈良教育大学・奈良女子大学)における地域連携の取組について

PICK UP

奈良女子大学の研究者



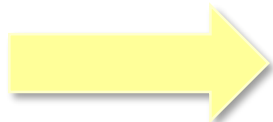
研究院 工学系
才脇 直樹 教授

■ 主な研究内容

- ・ものづくり技術(IoTやセンサを初めとする電子情報工学)
- ・人間情報学
- ・スマートテキスタイル
- ・ヒューマンインタフェース
- ・ロボットの生活応用

※研究者の経歴等は
(URL: https://www.tdk.com/ja/tech-mag/challenging_for_tomorrow/lab16)をご参照下さい。

デジタル技術の活用 (装置・デバイス)



地域連携事例集にも
掲載されています。

地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

健康・医療、文化・スポーツ、防災・防犯

■ 活用例

日々のバイタルや行動を簡易に常時
モニタリングできるウェアラブルデバイス
による、健康管理や危険作業の事故防止

PICK UP

奈良女子大学の研究者



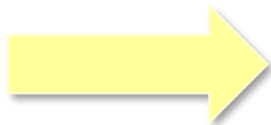
情報基盤センター
瀧本 栄二 准教授

■ 主な研究内容

- 情報通信技術
(プロトコル、無線LAN制御)
- 情報セキュリティ

※研究者の経歴等は
(URL: <https://researchmap.jp/takimoto7000020466>)
をご参照下さい。

デジタル技術の活用 (情報システム、 セキュリティ)



地域課題解決に向けた活用例

■ 活用分野

フロントヤード(住民との接点)DX、
バックヤード(内部事務)DX

■ 活用例

行政業務のDX化や行政サービスの
オンライン化推進サポートと、
それに伴い必要となる情報セキュ
リティに関する施策の推進と改善

地域との連携形態について

地域との連携形態

奈良カレッジズ連携推進センターの「地域連携推進部門」では、地域課題研究と社会教育の循環システム支援を行い、機構が運営する奈良教育大学および奈良女子大学と学外機関との地域連携事業の推進を図ります。



地域との連携実績について

地域との連携実績

多数の自治体と、情報通信関係以外の分野でも地域連携を行っています。特に、奈良県下の多数の自治体とは協定を結び地域連携を行っています。

・ 過去の連携実績

年度	件数	主な連携事例
2023年	32件	「下北山村」「奈良市」「奈良県」との共同研究、「川上村」「王寺町」との特産品開発事業、「十津川村」「下市町」「東吉野村」「下北山村」「川西町」「明日香村」との授業連携、夏休み子ども学習支援など連携多数

連絡先

奈良国立大学機構 奈良カレッジズ連携推進センター
TEL: 0742-20-3989
Mail: nara_colleges@ml.nara-ni.ac.jp